

資料3 : 小田原城天守閣に関する史料調査

■小田原城天守閣に関する史資料の収集、整理

古写真、雛形模型等の小田原城天守閣に関する史料を再確認し、収集・整理する。

小田原城が描かれている絵図についても史料調査を行っている。

絵図中、天守が描かれているものについては一部抜粋し参考までに資料として掲載した。

■古写真……………1枚

■小田原城天守閣模型…4基（うち1基は不明）

■小田原城天守古図……………3種5枚

■小田原天守が描かれた絵図一覧

| | | |
|--------------------|-------|----|
| 「1633年以前」…………… | （城下町） | 1種 |
| 「1633年～1703年」…………… | （宿場） | 1種 |
| | （城下町） | 8種 |
| | （城内） | 6種 |
| 「1703年～1870年」…………… | （宿場） | 4種 |
| | （城下町） | 4種 |
| | （城内） | 6種 |
| 「その他」…………… | （宿場） | 2種 |
| | （城内） | 3種 |

天守閣の変遷として「1633年の大地震による大改修または再建」、「1703年の大地震による焼失」といった2つの天災を境に3つの時代に区分し、時代ごとに「宿場」及び「小田原城」を描いたものに分類した。また、後者については更に「城下町」と「城内」を描いたものに分けている。

■古写真

| | 年代 | 名称 | 所在 | 数量 | 備考 |
|-----|------------|-----|-----------------------|----|----|
| (1) | 明治3年11月解体時 | 古写真 | 横浜開港資料館蔵(写真:『日本の城』より) | 1枚 | |

■小田原城天守閣模型

| | 年代 | 模型名称 | 所在 | 数量 | 備考 |
|-----|------------|-------------------|---------|----|---|
| (1) | - | 五重天守閣模型(旧大久保家蔵) | 不明 | - | 縮尺1/40 五層五重 初重:桁行 2.6尺、梁行 2.275尺 17間×15間 二重:桁行 2.3尺、梁行 1.975尺 15間×13間 三重:桁行 2尺、梁行 1.675尺 13間×11間 四重:桁行 1.7尺、梁行 1.375尺 11間×9間 五重:桁行 1.4尺、梁行 1.075尺 9間×7間 |
| (2) | - | 三重天守閣模型(旧東京大学蔵) | 小田原城天守閣 | 1基 | 縮尺1/20 三層三重 初重:桁行 3.575尺、梁行 2.925尺 11間×9間 二重:桁行 3.15尺、梁行 2.5尺 10間×8間 三重:桁行 2.55尺、梁行 1.9尺、両端1間のみが6尺間 |
| (3) | 1860~1861年 | 三重天守閣模型(大久保神社蔵) | 小田原城天守閣 | 1基 | 縮尺1/20 三層四重(初層:二重) 初重:桁行 3.575尺、梁行 2.925尺 11間×9間 二重:桁行 2.925尺、梁行 2.275尺 9間×7間 三重:桁行 2.275尺、梁行 1.625尺 7間×5間 |
| (4) | | 三重天守閣模型(東京国立博物館蔵) | 東京国立博物館 | 1基 | |

※上記年代及び備考については「文献リスト(5)」参考

■小田原城天守閣古図

| | 年代 | 図面名称 | 所在 | 数量 | 縮尺 |
|-----|----|----------------|-------------------|----|-----------|
| (1) | - | 五重天守閣古図(旧川部家蔵) | 東京国立博物館蔵(小田原市:写し) | 2枚 | 1/30、1/40 |
| (2) | - | 三重天守閣古図(旧川部家蔵) | 東京国立博物館蔵(小田原市:写し) | 2枚 | 1/40 |
| (3) | - | 三重天守閣古図(旧川部家蔵) | 東京国立博物館蔵(小田原市:写し) | 1枚 | 1/20 |

■文献リスト

| | 文献 | 著者 | 掲載紙 | |
|-----|---|-------|---------------------------------------|------------|
| (1) | 初期天守閣の一考究 | 藤岡 通夫 | 建築雑誌 51(624), 361-362, 1937-03-20 | 社団法人日本建築学会 |
| (2) | 和歌山城天守とその造営年に就て | 藤岡 通夫 | 建築學會論文集 (17), 30-39, 1940-03-25 | 社団法人日本建築学会 |
| (3) | 熊本城天守復原考 | 藤岡 通夫 | 建築學會論文集 (22), 8-17, 1941 | 社団法人日本建築学会 |
| (4) | 萩城天守復原考 | 藤岡 通夫 | 建築學會論文集 (22), 18-24, 1941 | 社団法人日本建築学会 |
| (5) | 小田原城天守とその模型に就て | 藤岡 通夫 | 建築學會論文集 (27), 8-14, 1942 | 社団法人日本建築学会 |
| (6) | 層塔式天守の一考察 | 藤岡 通夫 | 建築學會論文集 (29), 24-30, 1943-05-30 | 社団法人日本建築学会 |
| (7) | 天守構架法の研究 | 藤岡 通夫 | 大会学術講演梗概集. 計画系 21(2), 2-4, 1945-11-22 | 社団法人日本建築学会 |
| (8) | 天守構架法の研究 (第2部會: 歴史, 計畫, 都市計畫)(昭和21年度建築學會大會特輯) | 藤岡 通夫 | 建築雑誌 62(728・729), 23, 1947-02-20 | 社団法人日本建築学会 |

■小田原城天守が描かれた絵図一覧

| 天守の変遷 | | 絵図の種類 | | 絵図の成立年 | 所蔵一 掲載図書 | 備考 | |
|-------------|--|--------------------|---|---|--------------------|--|--------|
| 種類 | 規模 | 宿場 | 小田原城絵図 | | | | |
| | | | 城下町 | 城内 | | | |
| 加藤図天守 | 3重 望楼型(各重入母屋造り) | | 加藤図『相州小田原古絵図』●[※1] | | 1614～1632頃 | 小田原市立図書館寄託 天守展示 (岩瀬家蔵) | |
| 大改修又は再建 | | | | | 1633年大地震による大改修又は再建 | | |
| 正保図天守 | 3重 (1.2重寄棟造り、3重目のみ入母屋造り) 推定規模:上段4×6間、2・3段8×10間、穴蔵10×12間(「稲葉家引送書」) | | 正保図『相模国小田原城絵図』[※2] | | 1644～1654 | 国立公文書館蔵・国立国会図書館蔵－ 『小田原市史』 | |
| | | | 田辺図 | | 1660 | 稲葉神社蔵－『日本の城』 | (松原図系) |
| | | | 万治図(稲葉神社図、片岡写図●) | | 1660 | －『小田原市史』 | (松原図系) |
| | | | | 寛文図(春日氏図●)[※3] | 1672 | 岩瀬正直氏蔵・小田原市立図書館蔵/ 神奈川県立歴史博物館蔵－『小田原市史』 | |
| | | | | 松原図『相州小田原絵図』● | 1680～1683 | －小田原市ホームページ | |
| | | | | 三井文庫図 | 1680～1683 | 三井文庫蔵－『小田原市史』 | (貞享図系) |
| | | | | 国立公文書館図 | 1680～1687頃 | 国立公文書館蔵－ 『小田原市史』 | (貞享図系) |
| | | | | 大久保貞享図(旧称:延宝図)[※4] | 1685 | 小田原市立図書館蔵－ 『小田原市史』 | (貞享図系) |
| | | | | 元禄図 (大久保元禄図/岩瀬元禄図/中戸川元禄図/ 静嘉堂元禄図) | 1689 | －『小田原市史』 | |
| | | | | 元禄地震前天守絵図[※5] | 1688～1703 | 小田原市 | |
| | | | 東海道分間之図(小田原宿) | | 1690年以前 | 国立公文書館蔵 | |
| | | | | 宮内庁図『小田原城郭総図』[※6] | 1697～1703 | 宮内庁蔵－『小田原市史』 | |
| | | | | 国会図書館図[※7] | 1700年前後 | 国立国会図書館蔵－ 『小田原市史』 | |
| | | 原氏図 | 1700年代 | －小田原市ホームページ | | | |
| 焼失 | | | | | 1703年大地震による焼失 | | |
| 宝永再建天守 | 3重 (1.2重寄棟造り、3重目のみ入母屋造り) 層塔型、石落とし、意匠に変化 規模:初重9×11間、2重7間4尺×9間4尺、3重6間2尺×8間2尺、 総高12丈6尺6寸 | | 享保図●[※8] (①中戸川享保図/②江口享保図/静嘉堂享保図/瀬戸享保図/宮内庁享保図) 仮称元文図 | | ①1730/②1734 | ①中戸川清氏蔵・小田原市立図書館寄託/ 江口文亮氏所蔵・小田原市立図書館保管－ | |
| | | | 豊田図● | | 1736～1742 | －小田原市ホームページ | |
| | | | 東海道分間延絵図(小田原宿)[※9] | | 1751～1763頃 | －小田原市ホームページ | |
| | | | 東海道五十三次(小田原宿)[※10] | | 1800頃(享和年代) | 東京国立博物館蔵－ 小田原市パンフレット | |
| | | | | 文政図(加藤氏図●) | 1804～1817(文化年間) | 小田原市－ 小田原市ホームページ | |
| | | | 美人東海道(小田原宿) | | 1822～1825 | －『小田原市史』 | |
| | | | | 天保図『小田原城図』●[※11] ①瀬戸・横井本天保図 ②板倉本天保図 | 1830～1836 | 小田原市－ 小田原市ホームページ | |
| | | | | 小田原城并見附図[※12] | 1839前後 | ①神奈川県立歴史博物館蔵 ②小田原市立図書館蔵－ 『小田原市史』 | |
| | | | | 弘化図●[※13] | 1830～1843 | 小田原市 | |
| | | | | 嘉永6年修復伺図 | 1845 | 小田原城天守閣蔵－ 『小田原市史』 | |
| | | | | 文久図(旧称:嘉永図)●[※14] | 1853 | －小田原市ホームページ | |
| | | | 末広五十三次(小田原)[※15] | | 1853～1867頃 | 小田原城天守閣蔵・竹村家旧蔵－『小田原市史』 | |
| | | | | 明治図● | 1867(慶応3年) | 小田原市 | |
| 解体 | | | | | 1870年解体 | | |
| 解体後 (参考) | — | | 明治公図(二の丸以内) | | 1870年代 | －小田原市ホームページ | |
| | | | 弘化図系印刷図 | | 1890～1900年代 | －小田原市ホームページ | |
| | | | 御用邸図(大正11年) | | 1922 | －小田原市ホームページ | |
| 年代不明 | | 東海道絵巻物(小田原宿)[※16] | | | 江戸期 不明? | 東京大学史料編纂所蔵－ 小田原市パンフレット | |
| | | 東海道細見図1(小田原宿)[※17] | | | 享保年間(1716-36)以降 | 国立公文書館－ 国立公文書館デジタルアーカイブ | |

■ :天守が描かれている史料
● :市指定の絵図

参考資料
①『小田原市史 別編 城郭』,小田原市,1995
②『復元大系 日本の城 2 関東』,株式会社ぎょうせい,1993
③ 小田原市ホームページ
④ 国立公文書館デジタルアーカイブ
上記の記述内容が異なる場合は①を優先とする。

加藤図天守 【創建（近世初頭推定）～1630年頃】

- ・3重 望楼型（各重入母屋造り）
- ・1630年石材切替工事、1633年大地震による大改修又は再建

加藤図「相州小田原古絵図」[※1]

- ・成立：1614～1632年頃
- ・所蔵：小田原市立図書館
- ・概要：小田原城とその城下町を描く絵図のうち藩政期の絵図として最初期のもの。

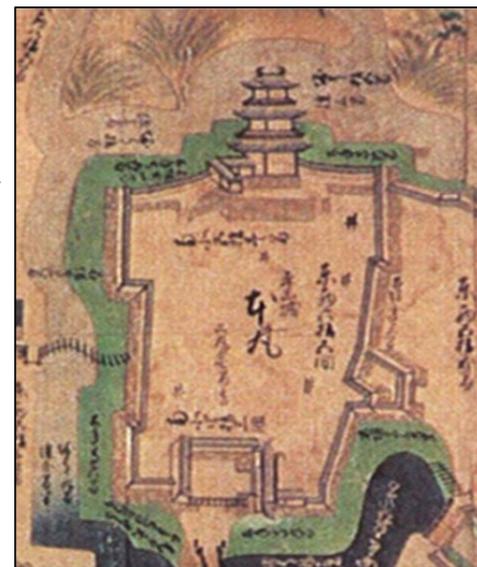


正保図天守 【1634年頃～1703年頃】

- ・3重（1,2重寄棟造り、3重目のみ入母屋造り）
- ・推定規模：上段4×6間、2・3段8×10間、穴蔵10×12間（「稲葉家引送書」）
- ・元禄16（1703）大地震による倒壊、焼失

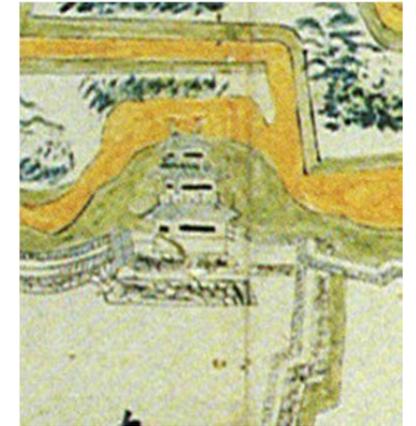
正保図「相模国小田原城絵図」[※2]

- ・成立：1644～1654年頃
- ・所蔵：国立公文書館・内閣文庫蔵
- ・概要：寛永九年以降近世近世城郭として再整備された最初の図。前年に許可を受けた二の丸東北方角馬屋曲輪の櫓の建造及び天守修理のために作成された。



寛文図「小田原城図」[※3]

- ・成立：1672
- ・所蔵：岩瀬正直氏・小田原市立図書館／神奈川県立歴史博物館
- ・概要：近世小田原城の範囲である本丸・二の丸・三の丸を描いており格的な小田原城改修計画図として作成されたもの。



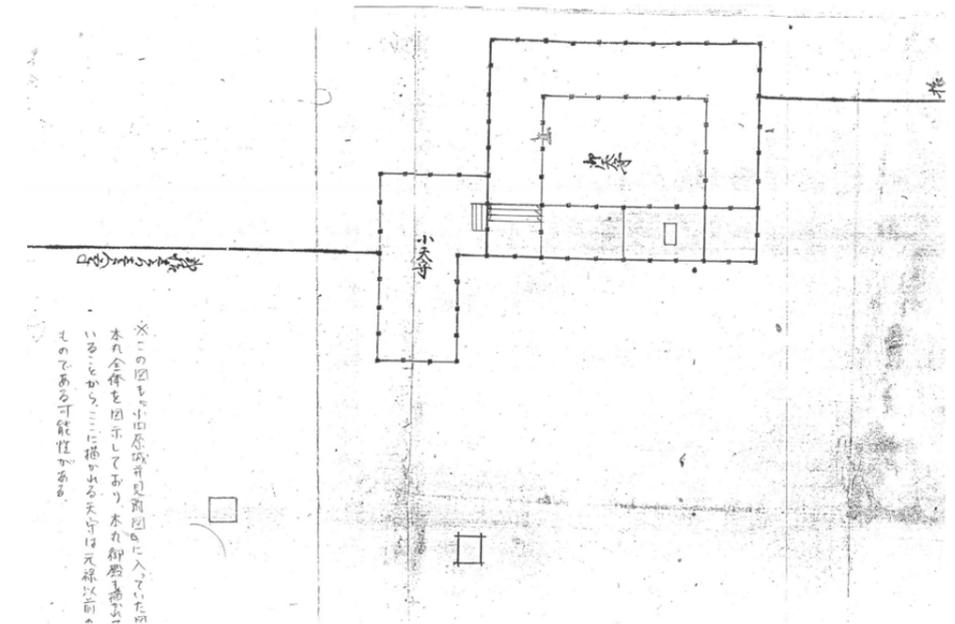
大久保貞享図（旧称：延宝図）[※4]

- ・成立：1685
- ・所蔵：小田原市立図書館
- ・概要：江戸時代を通じ小田原の城下町を描いた絵図。



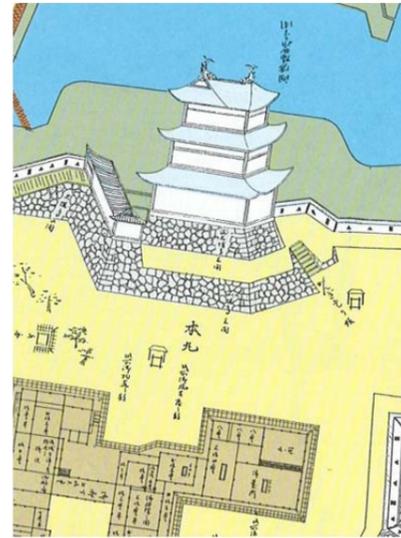
元禄前地震前天守絵図（名称不明）[※5]

- ・成立：1688～1703
- ・所蔵：小田原市
- ・概要：『小田原城并見附け図』入っていた図。本丸全体を図示しており、本丸御殿も描かれていることから、ここに描かれる天守は元禄以前のものである可能性がある。



宮内庁図「小田原城郭総図」[※6]

- ・ 成立：1697～1703年頃
- ・ 所蔵：宮内庁
- ・ 概要：大震災後の修築のために作成された。
小田原城の絵図の中で最も精密に描かれたもの。



宝永再建天守 【1706年～1870年頃】

- ・ 3重 (1,2重寄棟造り、3重目のみ入母屋造り)
- ・ 層塔型、石落とし、意匠に変化
- ・ 規模：初重 9間×11間、2重 7間4尺×9間4尺、3重 6間2尺×8間2尺
- ・ 総高：12丈6尺6寸
- ・ 明治3(1870)年解体

中戸川享保図 [※8]

- ・ 成立：1730
- ・ 所蔵：中戸川清氏・小田原市立図書館寄託
- ・ 概要：天災による被害個所について幕府に復旧工事を申請する為に描かれた図。



国会図書館図 [※7]

- ・ 成立：1700年前後
- ・ 所蔵：国立国会図書館
- ・ 概要：正保図系の最後の城内図として描かれたもの。



東海道分間延絵図(小田原宿) [※9]

- ・ 成立：1800年頃(享和年代)
- ・ 所蔵：東京国立博物館蔵



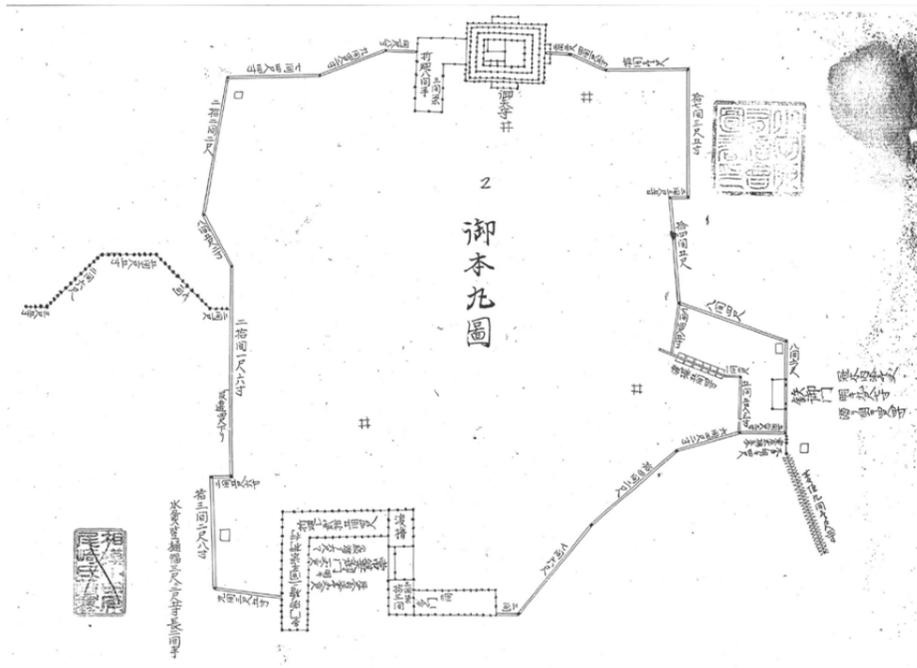
東海道五十三次 [※10]

- ・ 成立：1804～1817年頃(文化年間)
- ・ 所蔵：小田原市



小田原城并見附図 [※11]

- 成立：1830～1843
- 所蔵：小田原市
- 概要：寸法表記があり、貴重な資料。



文久図 (旧称：嘉永図) [※14]

- 成立：1861～1863 年頃
- 所蔵：小田原城天守閣
- 概要：城内については鳥瞰図法を用いるなどしてより精密に描かれている。



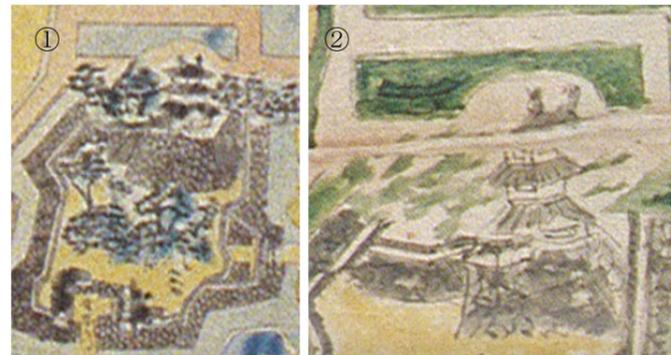
末広五十三次 (小田原) [※15]

- 成立：1861～1863 年頃
- 所蔵：小田原市



天保図 (①瀬戸・横井本天保図②板倉本天保図) [※12]

- 成立：1839 前後
- 所蔵：①神奈川県立歴史博物館
②小田原市立図書館
- 概要：②大久保藩士板倉家に伝えられた図。



※以下、年代不明

東海道絵巻物 (小田原宿) [※16]

- 成立：江戸期 (不明?)
- 所蔵：東京大学史料編纂



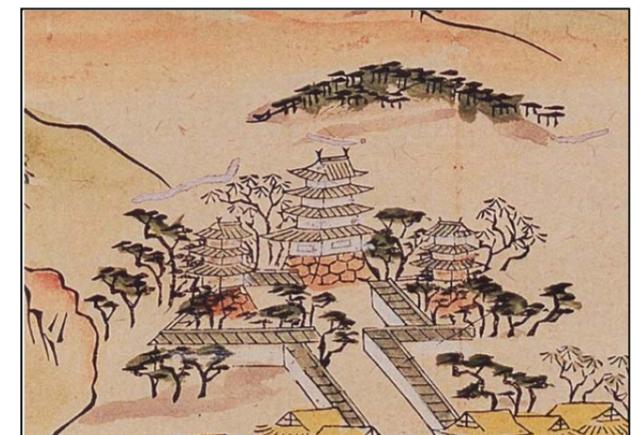
弘化図 [※13]

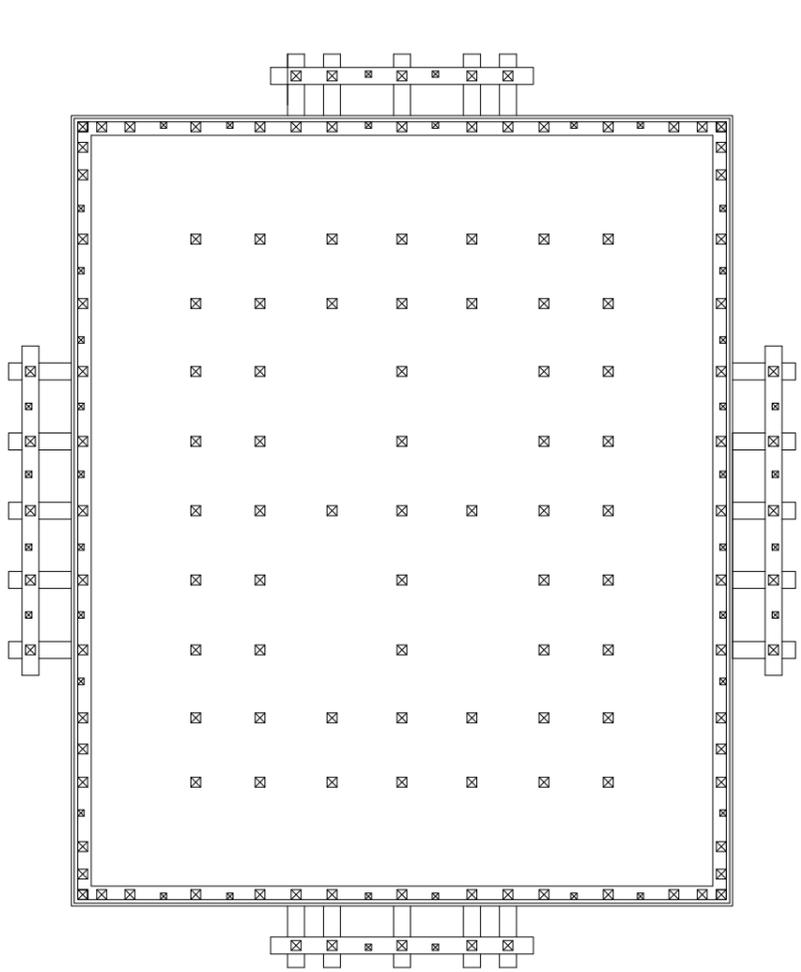
- 成立：1845
- 所蔵：小田原城天守閣
- 概要：弘化2年 (1845) に書写された図。
三の丸周辺の場内が描かれている。



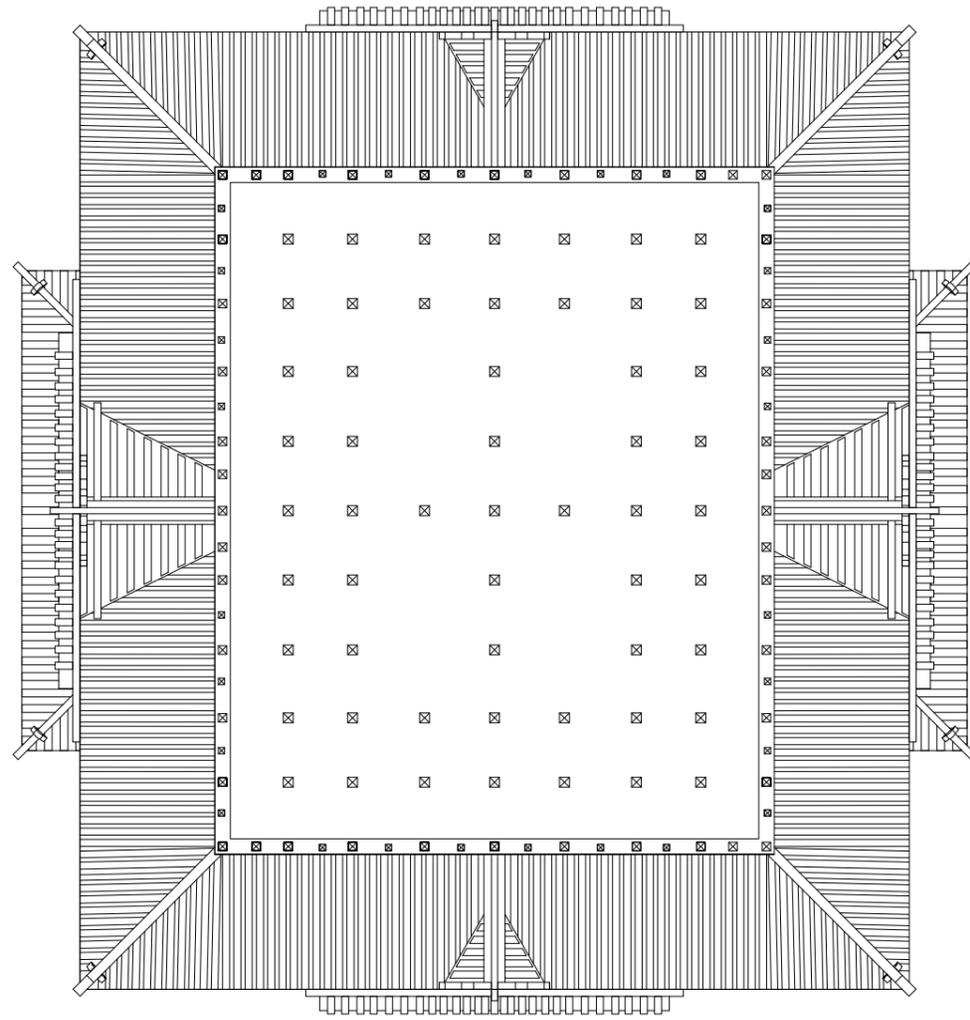
東海道細見図1 (小田原宿) [※17]

- 成立：享保年間
- 所蔵：国立公文書館

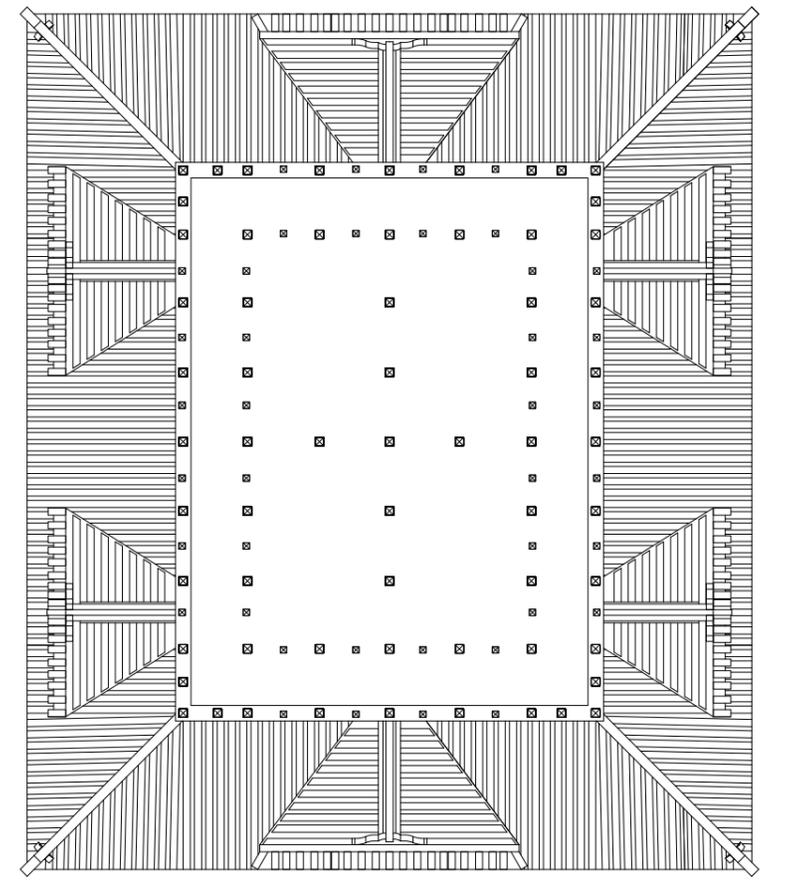




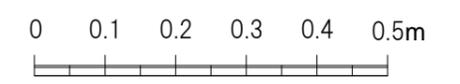
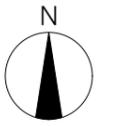
一層平面図

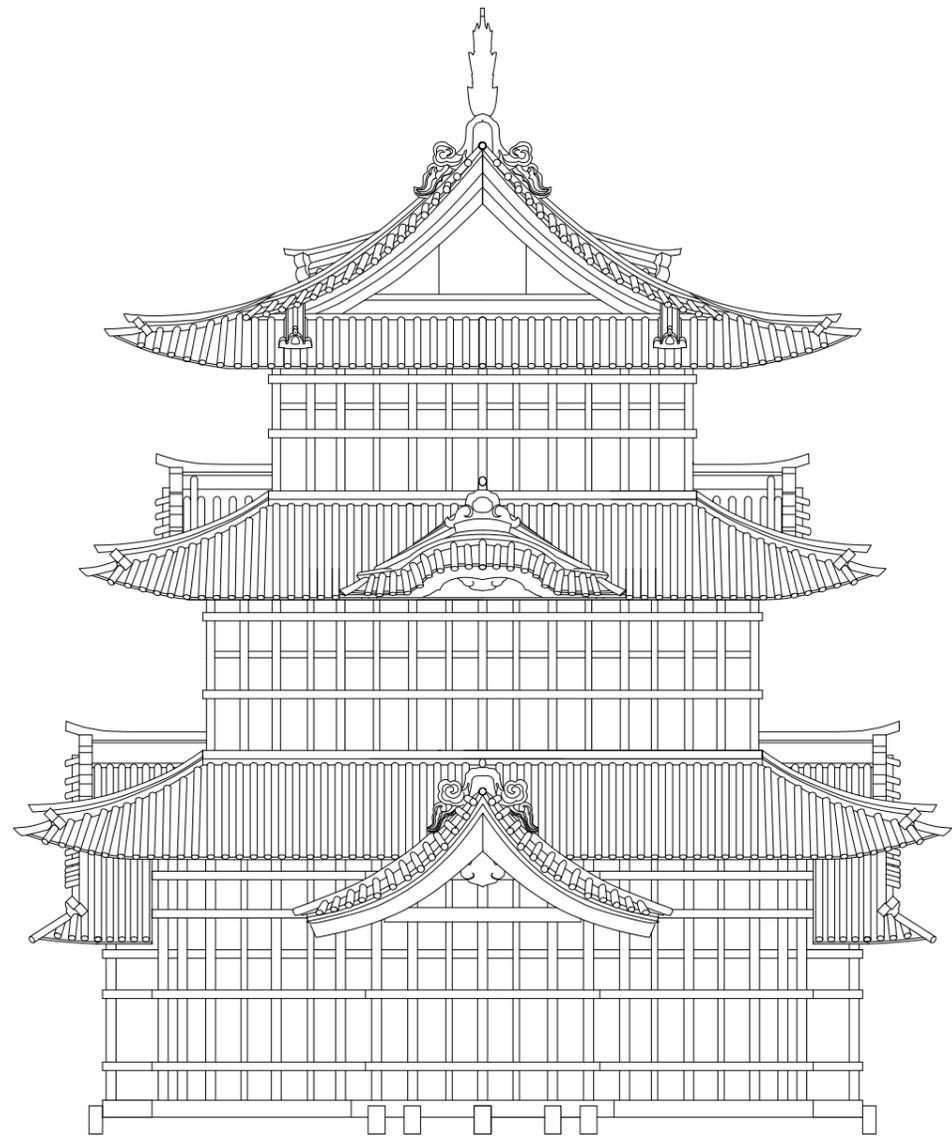


二層平面図

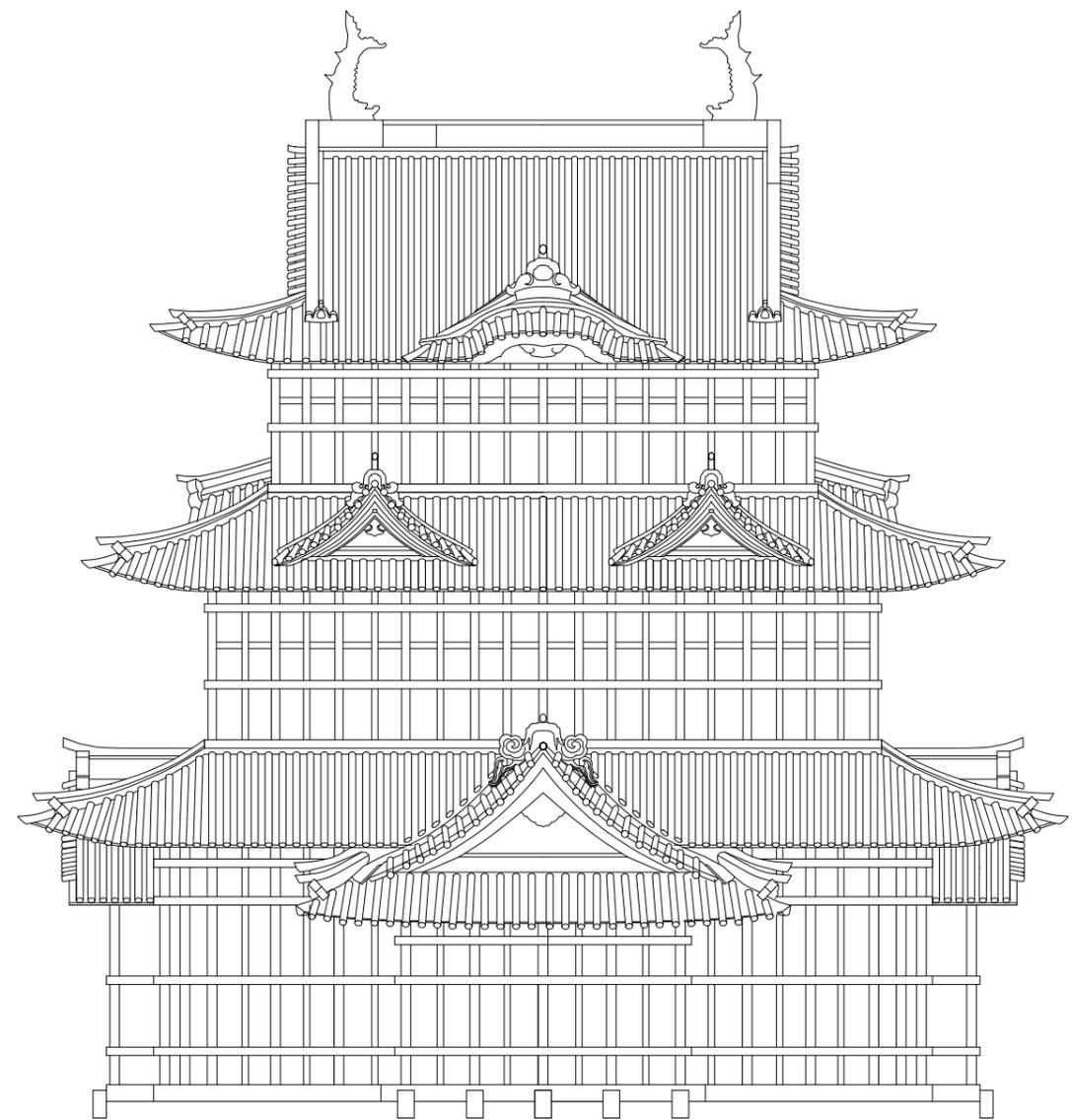


三層平面図

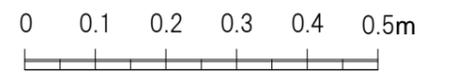


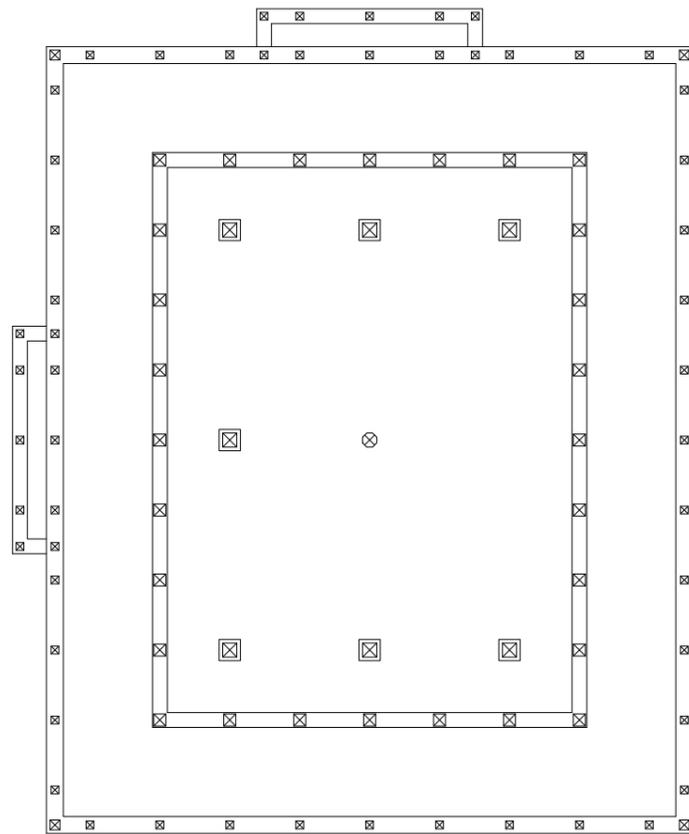


北側立面図

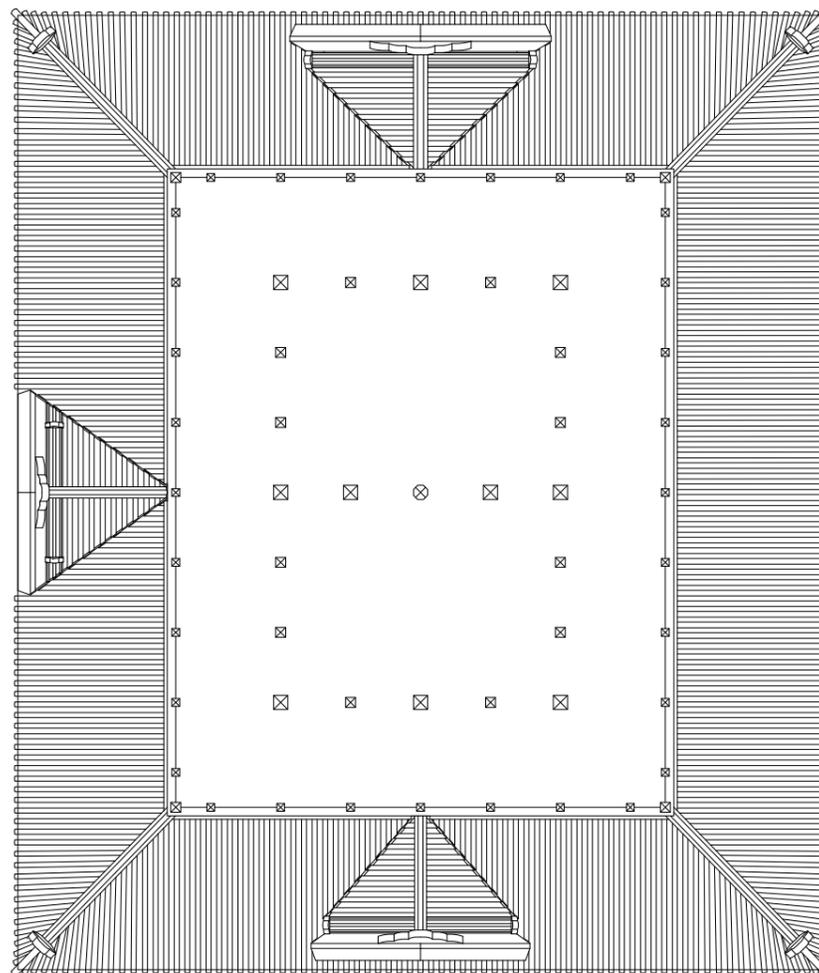


東側立面図

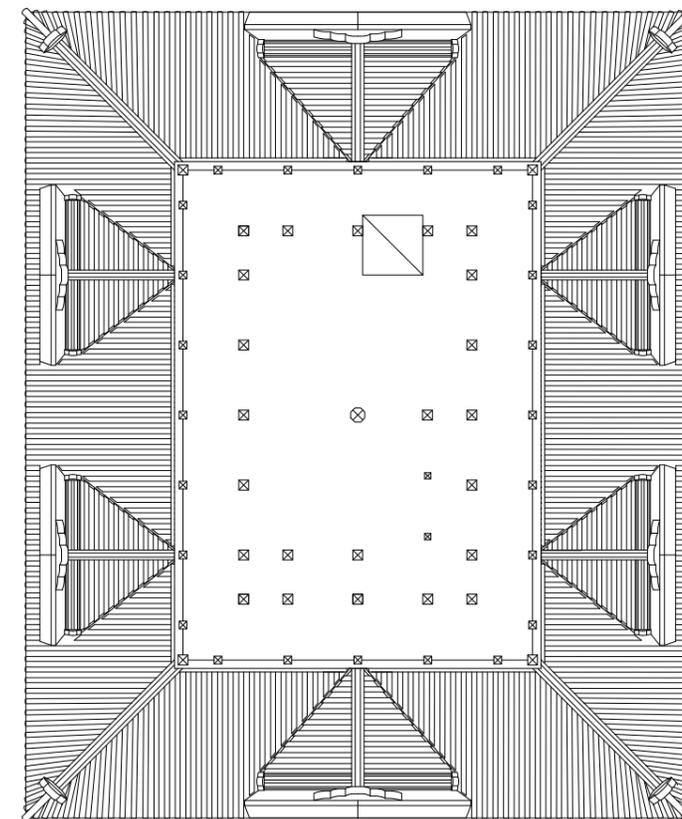




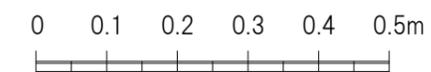
一層平面図

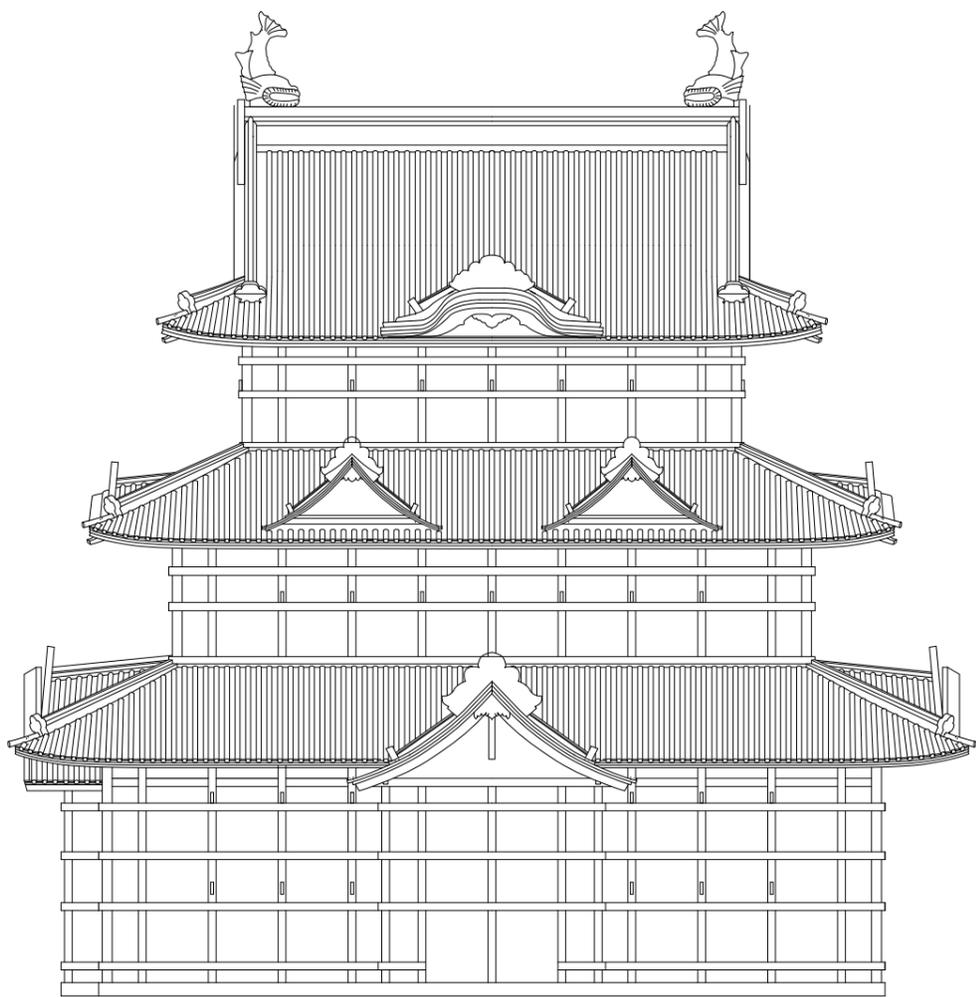


二層平面図

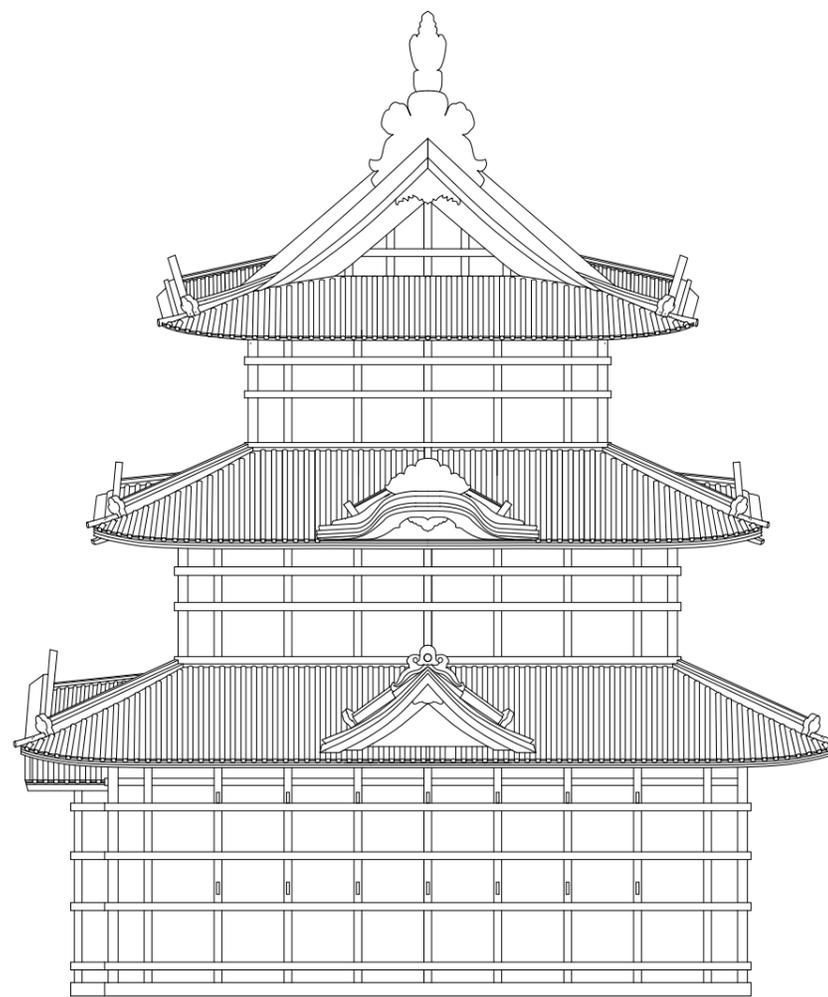


三層平面図





西側立面図



南側立面図

